

## 平成 28 年度 一般社団法人 宮城県薬剤師会事業計画

医療・福祉のありかたそのものの変革が迫られる昨今、薬剤師も当然ながら、その果たすべき役割に変化が求められている。つまり、医薬品の供給とその適正使用の確保は無論のこと、“効率的で質の高い薬物療法の実現”が薬剤師に対する時代の要請である。“効率的で質の高い薬物療法の実現”とは、残薬解消・後発医薬品の使用促進にとどまらず、薬剤師が関与することで新たな医療費・介護費用の発生を未然に回避し、限られた医療財源の公正かつ適正な配分に寄与することを視野に入れた取り組みである。

このような状況に鑑み宮城県薬剤師会は、地域住民はじめ、他の医療・介護従事者、保険者、自治体、薬学生に対して、薬剤師が担うべき役割を具体的な成果として提示し、地域保健医療における薬剤師の地歩をより確固たるものとするために、以下に掲げる事業を推進する。

1. 地域包括ケアにおける薬剤師の活動拠点として、地域住民への健康情報の提供、セルフメディケーションへの支援、在宅患者への医薬品供給・管理指導業務を担う“健康サポート薬局”の構築を推進する。
2. 地区薬剤師会が行う薬と健康の集い等の地域住民啓発活動を支援し、健康サポート薬局の意義、薬剤師職能の周知を図る。
3. 地区・職域薬剤師会との連携強化を図るとともに、非会員薬剤師・薬学生への本会活動を周知することで、組織活性化・会員増大をはかる。
4. 地域包括ケアシステムにおいて、薬剤師の関与が業務の効率化、医療経済上の有用性を有することを明らかにするための調査研究を関係団体・大学等と連携して実施する。
5. 地域住民への危険ドラッグ等の薬物乱用防止啓発活動を推進する。
6. 宮城県と連携して薬剤師確保事業を展開し、地域薬局の運営安定化を支援する。
7. 不測の災害発生に備え、会務継続の確保及び被災地支援の即応態勢・対応能力の維持向上を図る。
8. ヒヤリハット事業への取り組みを強化し、地域住民の信頼向上を図る。
9. 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の普及を促進することで、学習達成度の標準化をはかる。
10. 薬剤師の日常業務に必要な情報提供の強化と、日本薬剤師会学術大会などへの参加を推進し、薬剤師の研究能力の向上をはかる。
11. 日本薬剤師会 Drug Event Monitoring (DEM) 事業への取り組みを強化するとともに、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 68 条に基づく薬剤師による医薬品副作用報告の実施を促進する。
12. 会務運営の効率化と会営調剤薬局（宮城野）、薬事情報センター、医薬品試験センター

の整備及びさらなる活用をはかる。

13. 次代を担う薬剤師養成に必要な各種事業の実施および関係団体との連携強化を推進する。
14. 会務推進に必要な関係諸団体とのさらなる連携強化を推進する。
15. その他本会の目的達成のために必要な事業。